

フレックス スター V

【禁忌・禁止】

- ・ポリアミドに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・口腔内における 24 時間におよぶ連続使用はしないこと。

【形状、構造及び原理等】

- 1) 形状：1.5mm～6mm 程度のペレット状
色調：ピンク色（スタンダードピンク）、
淡いピンク色（ライトピンク）で半透明
- 2) 原理
本品を加熱溶解し、型に射出成形することにより所定の形状の補綴物等の作製に用いる。
- 3) 原材料
ポリアミド（ナイロン）、法定色素

【物理的特性】

項目	仕様
曲げ強さ	30MPa 以上
曲げ弾性率	650MPa 以上
吸水量	32 μ g/mm ³ 以下
溶解量	1.6 μ g/mm ³ 以下

【使用目的又は効果】

義歯床等を作製するために用いる。

【使用方法等】

- 1) マスターモデルの調整
複印象前に、マスターモデル上で義歯の着脱に影響するすべてのアンダーカットをワックス等でブロックアウトする。
遊離端義歯の場合、最端歯の遠心側アンダーカットは、さほど深くなければ、この部位のブロックアウトの必要はない。
- 2) セットアップ
ブロックアウト済みのマスターモデルから複模型を作製する。
（最終段階で咬合状態を確認するためにマスターモデルが必要である）ベースプレートは用いず、ワックスを複模型に直接盛り付ける。
人工歯は機械的維持のための保持孔（中心孔）が必要である。
人工歯と粘膜面とのスペースは、人工歯の保持孔にもフレックス スター V が流れ込むよう、1mm 以上の余裕が必要となる。
また、確実な機械的保持を得る為に、小径のラウンドバーで近心と遠心から人工歯に穴を開け、中心孔と連結させる。
- 3) ろう形成
重要：仕上げ段階の研削作業を軽減するため、最終形態を十分考慮したろう形成を行う。
※ろう形成時の望ましい厚さ
 - 1) 口蓋部 1.2～1.5 mm
 - 2) 頬側・唇側フランジ 1.2～2.0 mm
 - 3) クラスプ部 1.0～1.5 mm
 - 4) 舌側フランジ 1.2～2.0 mm
 - 5) 連結子 1.7～2.0 mm
- 4) 埋没及びスプルーの植立
臼歯部側をフラスコのスプルー開口部に向けて、フラスコの中

央にワックスアップした複模型を埋没させる（一次埋没）。
石膏硬化後、フラスコのスプルー開口部から両側の臼歯部のワックス部へつながるスプルーを植立する。
スプルーの直径は約 7mm とする。また、加熱・溶融したレジンが緩やかなカーブの通路に流れ込むよう、スプルーは、極端な角度をつけないよう注意する。
分離剤を石膏表面全体に薄く塗り、上腕フラスコの中央部から石膏を注入し埋没させる（二次埋没）。

- 5) ワックスの流ろう（脱ろう）
二次埋没硬化後、熱湯の中に 8 分間フラスコを浸しておく。フラスコを開けてワックスを流ろうし、ワックスが完全に取り除かれたことを確認した後、フラスコを冷ます。
分離剤を人工歯につけないよう充分注意しながら石膏表面全体に薄く塗布し、完全に乾くまで待ち、フラスコを閉じる。
- 6) 射出成型
カートリッジ・スリーブの内側に分離スプレー（シリコーンスプレー）を噴霧し、レジンオープン内に入れる。レジンオープンのスイッチを入れて 290℃に設定し、設定温度に達したら 15 分間カートリッジ・スリーブを予熱する。
フレックス スター V チューブをアルミホイル製の袋から取り外す。チューブとブロンズディスクに分離スプレーを噴霧する。ブロンズディスクは、メディアムリジッドチューブには小を、ラージリジッドチューブには大を選択する。
チューブをキャップ側（図 1）からカートリッジ・スリーブに挿入し、さらにブロンズディスクをカートリッジ・スリーブ内のチューブに接するまで挿入する。
その後 12 分間チューブを加熱する。
フラスコは、スプルー開口部を上に向けて、インジェクターのシャフト直下に置く。
加熱終了後、レジンオープン内からカートリッジ・スリーブのハンドルを持ってカートリッジ・スリーブを取り出し、カートリッジ・スリーブ内のチューブを動かさないように水平方向に保ってフラスコの上部まで移動し、さらに垂直方向にしてカートリッジ・スリーブをフラスコの既定部にのせる。
直ちにチューブが破裂するまで一定の速さでインジェクターのハンドルをまわし、その速さを持続してハンドルがまわらなくなるまで圧力を加え、フラスコ内に射出注入する。
その後も最大の圧力を 3 分間加え続ける。
その後、カートリッジ・スリーブのハンドルを持ってフラスコから取り外し、フラスコを 30 分ほど室温にて放置して冷やす。水中冷却はしないこと。放冷後、義歯をフラスコから取り出す。
なお、石膏から義歯を取り出す際、ハンマーは使用しないこと。
射出したカートリッジ・スリーブ内のチューブの残渣は、ノックアウトチューブと残りのブロンズディスクを用いてカートリッジ・スリーブから取り外す。
続けて射出注入を行う場合は、再びカートリッジ・スリーブの内側に分離スプレーを噴霧し、レジンオープン内で 10 分間予熱すること。
- 7) 仕上げ及び研磨
カットオフ用ホイールでスプルーをカットした後、粗研削用ポイントで整える。このとき過熱に注意する。
ラバーポイントで表面を滑らかに仕上げてからマスターモデルにセット（試適）し、適合性、保持力、厚さ及び咬合状態を確認する。
最終研磨には粒の細かい歯科用研磨剤と布ホイールを使用す

ること。
最後に艶出し剤とバフホイールを用いて低速で仕上げる。研磨時には過熱させないように注意する。

図 1



キャップ側

＜使用方法等に関する使用上の注意＞

- 1) 本品の硬化物を研削、研磨する際には、両眼保護用具を装着し、局所集塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し粉塵を吸引しないこと。
- 2) アルミホイール製の袋を開いてから 1 時間以内に射出注入を行うこと。
- 3) 人工歯には、陶歯ではなく必ず硬質レジン歯を使用すること。
- 4) 安全用ゴーグルと耐熱性グローブを装着すること。
- 5) 装着後 6 か月以上経過するとまれに変色・着色することがある。
- 6) 従来の部分床義歯と比較すると、支持・把持機能が低くなることがある。
- 7) 修理、リベース、増歯等が困難なため、必要時は再製作すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 本品の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 2) 他のレジンと混ぜないこと。
- 3) 洗浄する際は、ソフトデンチャー専用の洗浄剤を使用すること。
- 4) 漂白剤の入っている洗浄剤は使用しないこと。
- 5) 洗浄の際は、歯磨き粉(ペースト)は使用しないこと。
- 6) 洗浄用ブラシは、専用のソフトタイプを使用すること。
- 7) マウスウォッシュはノンアルコールのものを使用すること。
- 8) 症例に応じた、適切な設計を行なうこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- 1) 15-35℃の場所に保管すること。
- 2) 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
- 3) 水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧(物理的負荷)及び汚染を受けないように保管すること。
- 4) 歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

 **SmartPractice**
株式会社スマートプラクティスジャパン
TEL 0120-415-418

＜製造業者＞

CMP Industries LLC
国名：アメリカ合衆国